

『高松市病院事業経営健全化計画(令和3年度～5年度)』の取組状況 に係る高松市立病院を良くする会の評価結果報告書【令和4年度の評価】

令和5年11月14日
高松市立病院を良くする会
会長 谷田 一久

1 高松市立病院を良くする会

高松市立病院を良くする会は、医療の質、透明性及び効率性の向上並びに病院事業の経営健全化を図ることにより、市民を支え、市民のための病院の実現に資することを目的として、主に「高松市病院事業経営健全化計画」（以下「経営健全化計画」という。）の策定、見直し及び進捗状況の評価を行う外部評価組織として、平成23年6月に設置され、今年で13年目を迎えます。

今般、令和4年度の経営健全化計画の取組状況の評価を、次のとおり取りまとめたので報告します。

2 評価結果の総括

令和4年2月に策定した第4次経営健全化計画（令和3年度～5年度）において、高松市立みんなの病院では、「病院機能の維持」、「がん医療」、「災害時や感染症に対する医療」、「医師確保機能強化」、「地域包括ケア等の後方支援機能の強化」、「働き方改革の推進」、「経営課題に対する改善施策の取組」の7項目を、高松市民病院塩江分院では、「地域まるごと医療の推進」を重点取組項目として掲げ、その実現に向けて取り組んでいます。

今回の評価対象となる令和4年度は、「評価対象外」とした1項目を除く、評価項目26項目中、「順調」が14項目、「概ね順調」が12項目という結果になっており、一定の成果が認められました。みんなの病院においては、地域医療の中心として、新型コロナウイルス感染症の対応に取り組む一方で、救急患者の受け入れや効率的な病床管理、患者相談事業の充実、メディカルスタッフの資格取得等においても、積極的な取り組みを行い、成果がでていることを評価します。塩江分院においては、地域医療を推進し、訪問看護件数、訪問リハビリテーション件数、在宅復帰率が伸びていることを評価します。

将来にわたって持続可能な病院経営を行い、市民から信頼される病院であり続けるためには、単年度収支の均衡を目指しつつ、将来の医療ニーズや国の動向などを見定めながら職員一同が一丸となって取組を実施する必要があります。これまでの取組を改めて評価・検討し、「市民に信頼され、市民から選ばれる病院」となるよう期待します。

3 評価結果

(1) 評価基準

経営健全化計画に基づき、令和4年度に取り組んだ事項について、次の基準により評価を行いました。

評価基準		評価の考え方
評価	区分	
◎	計画どおり順調である	目標を達成した、又は目標達成と同程度の具体的成果が得られた。
○	おおむね順調である	目標達成のための取組を進め、一定の成果が得られた、又は計画期間内に、目標達成と同程度の具体的成果が得られることが見込まれる。
△	やや遅れている	目標達成のための取組が不十分、又は取組を進めたものの、具体的成果が得られなかった。
×	かなり遅れている	消極的、又は目標達成のための取組ができていない。
—	評価対象外	新型コロナウイルスの影響により、評価対象の取組ができなかった。

(2) 病院・診療所の評価結果

① みんなの病院

経営健全化計画に係る取組状況については、14項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は9項目、『○(おおむね順調である)』と評価した項目は5項目、『△(やや遅れている)』、『×(かなり遅れている)』、『－(評価対象外)』と評価した項目は無しとなり、『順調である』、『おおむね順調である』と評価した割合が全体で100%となりました。

全体としての総合評価は『○(おおむね順調である)』としました。
 「高松市医療全体の最適化を目指した役割の強化」においては、コロナ禍にありながら、コロナ対応と通常医療に加え救急患者の受け入れにも尽力されたことを高く評価しました。さらには塩江分院との一体化も進み、市全体の医療水準の維持向上に貢献している点は、市立病院の使命を果たそうとする職員全体の意思の表れであると高く評価できるものです。
 ただし、当たり前のレベルが高くなっていることや市立病院への期待が高まっていることから、さらには政策への対応や医師の確保などといった困難な課題は継続することもあり、引き続き努力をしていただきたいとの思いから総合評価を「○」にとどめました。

取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「総括評価表」に記載のとおりです。

ア 評価ごとの項目数

評価区分	R4	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	9項目	64%
評価結果『○』とした項目	5項目	36%
評価結果『△』とした項目	0項目	—
評価結果『×』とした項目	0項目	—
評価結果『－』とした項目	0項目	—
合計	14項目	100%

イ 取組項目ごとの評価

具体的施策	R4 総括 評価	R3 総括 評価	R2 総括 評価
取組項目(大分類)			
取組項目(小分類)			
1 医療の質の確保に向けた取組			
1 医療技術			
1 高松市医療全体の最適化を目指した役割の強化	◎	◎	◎
2 医師確保機能の強化	○	○	○
3 メディカルスタッフの確保と機能の強化	◎	○	○
4 医療安全の強化	○	○	○
5 医療品質の向上	○	○	○
6 災害医療機能の強化	◎	○	
2 人間関係			
1 チーム医療体制の充実	◎	○	◎
2 市民との信頼関係の強化	◎	◎	○
3 アメニティ			
1 患者の視点に立ったサービスの提供	◎	◎	○
4 地域社会			
1 地域医療連携の強化	◎	◎	◎
2 医療の透明性の確保に向けた取組			
1 情報発信			
1 情報発信	◎	◎	◎
3 医療の効率性の確保に向けた取組			
1 効率化			
1 効率化の推進	○	○	○
2 管理体制			
1 管理体制の強化	○	○	○
3 一体化			
1 一体化の推進	◎	○	○

総合評価	○	○	○
------	---	---	---

(2) 病院・診療所の評価結果

② 塩江分院

経営健全化計画に係る取組状況については、13項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は5項目、『○(おおむね順調である)』と評価した項目は7項目、『－(評価対象外)』と評価した項目は1項目、『△(やや遅れている)』、『×(かなり遅れている)』と評価した項目は無しとなり、『順調である』、『おおむね順調である』と評価した割合が全体で92%となりました。

全体としての総合評価は『○(おおむね順調である)』としました。
「地域医療の推進」において、訪問看護件数、訪問リハビリテーション件数の増加等、積極的な取り組みによる成果がでており、高く評価できます。
今後、みんなの病院の附属医療施設となる事を見据えながらの一体化は進んでおり、将来的に市内全域で必要となるであろう職種連携による訪問事業の充実と地域包括ケアシステムの構築での成果を期待します。

取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「総括評価表」に記載のとおりです。

ア 評価ごとの項目数

評価区分	R4	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	5項目	38%
評価結果『○』とした項目	7項目	54%
評価結果『△』とした項目	0項目	—
評価結果『×』とした項目	0項目	—
評価結果『－』とした項目	1項目	8%
合計	13項目	100%

イ 取組項目ごとの評価

具体的施策	R4 総括 評価	R3 総括 評価	R2 総括 評価
取組項目(大分類)			
取組項目(小分類)			
1 医療の質の確保に向けた取組			
1 医療技術			
1 地域医療の推進	○	△	△
2 医師の確保機能の強化	○	○	△
3 スペシャリストの育成	○	△	△
4 医療安全の強化	◎	○	◎
5 医療品質の向上	◎	○	△
2 人間関係			
1 チーム医療体制の充実	○	○	○
2 市民との信頼関係の強化	○	△	○
3 アメニティ			
1 患者の視点に立ったサービスの提供	◎	○	○
4 地域社会			
1 共に支え合う体制の整備	—	—	△
2 医療の透明性の確保に向けた取組			
1 情報発信			
1 情報発信	○	◎	◎
3 医療の効率性の確保に向けた取組			
1 効率化			
1 効率化の推進	◎	○	○
2 管理体制			
1 管理体制の強化	○	○	○
3 一体化			
1 一体化の推進	◎	◎	◎
総合評価	○	○	○